

#今日の黒部ダムカレー

信州名物コラボ
「黒部ダムカレー×ビタミンちくわ」

2026年
9月19日
～11月30日



個性豊かな
黒部ダムカレーを堪能して
「今日の黒部ダムカレー」
を発信しよう！



▶食べて復興支援

石川県食品協会「がんばろう！能登」連動企画
「がんばろう！能登」ラベル付きの商品購入で、
能登を応援！



▶Instagramキャンペーン

その日飲食したビタちく料理
または黒部ダムカレーの
画像を Instagram に投稿

QRコードから
応募フォームへアクセスし、
アンケートに回答



※Instagram への投稿のみでは対象外となりますのでご注意ください。

応募方法① A・B・Cコースから選択して応募

- 1 ビタミンちくわを購入
- 2 「#今日のビタちく」を付けて、料理の画像を投稿
- 3 応募フォームへアクセスし、アンケートに回答

応募方法② Dコースへ応募

- 1 黒部ダムカレーを店舗で飲食または関連商品
(例：レトルトなど)を購入
- 2 「#今日の黒部ダムカレー」を付けて、
黒部ダムカレーの画像を投稿
- 3 応募フォームへアクセスし、アンケートに回答

Aコース×20名



黒部ダムカレー
建設セット
ライス型、スコップスプーン

Bコース×20名



カレー
詰合せセット
レトルトカレー3種

Cコース×10名



ビタミンちくわ柄の
サーモタンブラー

Dコース×5名



杉野屋与作
海産物加工品

※賞品画像はイメージです ※賞品は予告なく変更する場合があります



希望のコースへ応募して当たる！



協力店舗の紹介



記載内容は変更になる場合がありますので、詳細は各店舗にお問い合わせください。

こまつうどん店	大町3306-14 0261-22-0646	北アルプスの食卓 国営アルプスあづみの公園内	常盤 7791-4 0261-21-1212
ぽかぽかランド美麻	美麻16784 0261-29-2030	おうちごはんホッと	大町4082-1 0261-23-5959
ねむの木	大町5893-5 0261-23-0555	湯けむり屋敷 薬師の湯	平2811-41 0261-23-2834
拉麺げん屋	大町3204 0261-85-0129	レストランあづみ野	梓川ISA (サービスエリア) 下り内 0263-47-8855
信州金熊温泉 明日香荘	八坂1106 0261-26-2301	ねまるちゃテラス	平10731 0261-85-4584
扇沢レストハウス	平2117 0261-22-3612	山麓ファームダイニング 健康美食Zen	平6180 090-1706-5391
黒部ダムレストハウス	黒部ダム駅から徒歩 5 分 080-2105-4886	インドネパールレストラン サティ	常盤3760-1 0261-85-4891
ANAホリディ・インリゾート 信濃大町くろよん	平2020 0261-22-1530	カレーハウスCoCo壱番屋 安曇野インター店	安曇野市豊科南穂高140-1 0263-73-7791

黒部ダムカレー



黒部ダムカレーは、日本一の大きさを誇る黒部ダムをモチーフに作られた長野県大町市のご当地カレーです。黒部ダム建設時、工事を行っていた人たちの胃袋を満たし身体を温めたのがちょっと辛めのカレーライスでした。その味を受け継ぎ、昭和40年代から立山黒部アルペンルートの長野県側の拠点である扇沢駅で提供されていた「アーチダムカレー」がその黒部ダムカレーの元祖となっています。ご飯を堰堤、ルーをダム湖に見立てたその見た目は迫力満点！是非ご賞味ください。



- 5つの掟
- その壱：お米をダムの堰堤の形にするべし
 - その弐：カレーのルーは必ず堰堤の外側（円弧の外側）に流し込むべし
 - その参：カレーのルーの上に“トッピング”を乗せるべし
 - その肆：料金は700円以上とするべし（良質なカレーを提供するため）
 - その伍：必ず水をつけるべし（北アルプスの麓、大町の水をご堪能いただくため）



黒部ダムとは

黒部峡谷は水力発電に非常に適しているとされながら、過酷な自然環境に阻まれ建設は実現しませんでした。しかし、戦後の復興期から高度経済成長時代へかけ、電力不足が深刻化し社会問題となりました。関西電力は背に腹は代えられないと、前人未到の地に巨大なダムを建設するという「世紀の難工事」に挑みました。大町トンネル掘削工事では大量の地下水と土砂が噴き出す「破砕帯」に苦しめられ、約80メートルを進むのに7か月かかりました。建設に関わったのは延べ1,000万人。1956（昭和31）年の着工から7年であついに完成しました。現在でも年間30万世帯以上の家庭で使うのに相当する電力量を発電しています。

黒部ダムとの関係

1956年から1963年に行われた黒部ダム建設工事の賄いで、ビタミンちくわ入りの「ちくわカレー」が出されていました。当時の作業員の方々のインタビューによると、週1回のカレーが待ち遠しく、翌朝「昨日のカレーが残っていないか」と賄いさんに聞いていた人もいたそうです。ルーがかなり硬めでご飯は少なめ。黄色いカレーには、ちくわのほかになまねぎ、にんじん、じゃがいももごろごろ入っていたそうです。過酷な作業現場で娯楽もない中、唯一の楽しみと言えるのが食事の時間。明日の活力へ、ちくわは貴重なタンパク源となっていました。また、長い筒状のものに穴があいていることから、トンネルの貫通を想起させ、ダム工事では縁起のよいものと考えられていました。海のない長野県では、昔から肉の代わりにちくわを入れる習慣があり、いまでも続いています。

ビタミンちくわとは

大正時代、能登でサメが大量に水揚げされるようになりました。しかし、サメを食べる習慣がなく、網を切られてしまうので厄介者でした。そこで気仙沼から職人を呼び、ちくわを製造することにしました。その後、サメの肝油にはビタミンが豊富に含まれることがわかり、1952（昭和27）年に「ビタミンちくわ」として発売すると、戦後の栄養難の時代に手軽に栄養が摂れるとヒット商品になったのです。七尾港から直江津港まで船で運び、荷馬車に乗り換えて石川から長野まで運ばれました。現在も石川産の「長野のソウルフード」として、生産量の7割が長野で食べられています。

株式会社スギヨ

1640（寛永17）年創業。能登・七尾で魚商を営んでいた杉野屋与作から始まり、明治に入って練り製品の製造を開始。1952年、戦後の栄養難の時代に「ビタミンちくわ誕生」。1972年、世界初のカニカマ「かにあし」を開発。2013年、うなぎ風蒲鉾「うなぎ蒲ちゃん」発売。現在は、練り物を進化させるだけでなく、すり身を使わない商品開発や農業事業などにも取り組んでいます。

小さなヒーロー 黒部ダムとビタミンちくわの知られざるつながり

驚異のダム建設を果たした偉大なヒーローたちと、その裏で彼らの胃袋を支えた小さなヒーロー、ビタミンちくわ。ビタミンちくわ誕生70周年の節目に、両者の知られざるつながりを辿る物語はこちら。



<https://www.sugiyoko.co.jp/kurobe-dam/>